

# 川嶋みどり先生講演会

1931年(昭和6年)の満州事変から1945年(昭和20年)第二次世界大戦の終結に至るまでの15年戦争といわれる間、日本の医療者はどのように戦争に関わってきたのでしょうか。日本の看護界を牽引する川嶋みどり先生が、戦争を知らない私たち医療職、介護職、そしてこれからの看護を担う看護学生たちに向けて語ってくださるお話を伺えることは、「今」という時代に生きる私たちに、大きな示唆を与えてくれる貴重な機会となる事と思います。すべてのプログラムに、市民参加が可能です。どうぞお出かけください。

**日時:** 2014年4月15日(火曜日)

**会場:** 亀田医療大学 学生会館4階 ミズキホール

**参加費:** 講演1、映画、パネル展示会は無料

講演2のみ 1000円 (学生は無料)



## 講演1 「看護の過去・現在・未来」

—今あらためて看護を語る—

13:30~15:00

亀田医療大学全看護学生向け授業の一環です。

## 映画上映会

ナイチンゲール「看護覚え書き」より

「病気は回復過程である」

15:20~16:20

この映画に出演されている川嶋みどり先生とともに、ナイチンゲールの軌跡をたどり、「看護覚え書き」を、今の時代にあらためて読み解く事の意味を考えたいと思います。

## 講演2 「戦争と医療」

19:00~21:00

(第33回 安房医療ねっとの例会)

## 「戦争と医の倫理」パネル展示会

14:00~21:00 学生会館1階 亀ママキッチンにて

「戦争と医の倫理」の検証を進める会で作成された貴重な資料を展示します。「医の倫理」を問い、問われる私たちは、まず過去の歴史を知る事から、考え始めなければならないのではないのでしょうか。

亀田医療大学、安房医療ねっと 共催  
企画: スープのよろずや「花」